

2017/18 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

FIS 関連規定に関しては、Specifications for Competition equipment and Commercial markings を参照にしている。スキー用具に関する規定は、ここに記載があるため、疑義が生じた場合は必ず目を通すこと。なお訳文と原文とに相違がある場合は、原文を優先する。

特に記載のないものは FIS 規定に準拠するものとする。SAJ 特別規定については別途記載する。

この共通事項と各年代別のものを両方参照すること。

用具について (抜粋)

1. スキー板について (セクション B 第 1 条)

各年代別のページを参照すること。なお購入の際には販売店と相談をし、年代別 FIS 規定に適合したものを購入すること。

2. ビンディングについて (セクション B 第 2 条)

プレート類を取り付ける際、スキー滑走面からブーツソールまでの高さは最大 50mm とする。

3. スキー靴について (セクション B 第 3 条)

ブーツソールから踵の下まで、すべての部品を含めた厚みは最大 43mm とする。

U14 と U16 においてはスキーの高さとブーツの厚みを同じにすることを推奨する。

4. レーシングスーツについて (セクション B 第 5 条)

FIS レースの DH、SG、GS で使用される競技スーツは FIS 規定の空気透過率基準をクリアしたスーツのみが使用できる。それに適合したレーシングスーツにはプリントの適合ラベル[CS2015]が標記されるが、プロンプ(FIS 冠)も 2017/2018 シーズン終了時まで移行期間として運用される。

DH 用スーツは、プロテクター (パット) を競技スーツと一体にすることはできない。

※SAJ 特別規定

K1 および K2 公認大会においては、FIS 規定レーシングスーツの着用を免除する。

5. ヘルメットについて (セクション B 第 6 条)

全ての FIS 公認大会では、新規格対応表示 (FIS ステッカー[RH2013]) が明示されているヘルメットの着用を義務とし、DH、SG、GS 競技に適用される。メーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。

SL では、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077 または ASTM2040 認証が必須である。

※SAJ 特別規定

SL の FIS 規定については推奨とする。

ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。ただしナショナルエンブレムを貼付せず、ヘッドスポンサーステッカーを貼付する場合は、前面におおよそ高さ 5cm のスペースを空けること。

6. バックプロテクターについて (セクション B 第 9 条)

U16 以下はバックプロテクターの使用を推奨する。

2017/18 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2006	定義なし
2005	U14

SAJ

学年	レース区分
5年生	K1
6年生	K1

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K1 においては FIS U14 規定を適用する。

ただし GS に関しては推奨とする。GS スキーの最小値は男女とも長さ 130cm、ラディウス 14m とする。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (SG / GS)

3. 個別事項

FIS U14 規定	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

*SAJ 公認大会においては体格、体力、技能に適応したスキーを使用すること。

2017/18 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2005	U14
2004	U14
2003	U16
2002	U16

SAJ

学年	レース区分	国体
1年生	K2	参加不可
2年生	K2	参加不可
3年生	K2	少年組

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 規定を適用する。

ただし SG に関しては推奨とする。SG スキーの最小値は男女とも長さ 175cm、ラディウス 27m とする。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (SG / GS)

3. 個別事項

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U14 規定					
女子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

*SAJ 公認大会においては体格、体力、技能に適應したスキーを使用すること。

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U16 規定					
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

2017/18 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2002	U16
2001	FIS (U18)
2000	FIS (U18)
1999	FIS (U21)

SAJ

学年	レース区分	国体
1年生	K2* / SAJ	少年組
2年生	SAJ	少年組
3年生	SAJ	少年組

*早生まれに限るが、出場可能大会は限定される。詳細は大会要綱を確認すること。

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 ルールを適用する。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (DH / SG / GS)

63mm 以下 (SL)

3. 個別事項

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U16 規定					
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

FIS 規定	DH		SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	210cm 以上*	50m 以上	205cm 以上*	40m 以上	188cm 以上*	30m 以上	155cm 以上
男子	218cm 以上*	50m 以上	210cm 以上*	45m 以上	193cm 以上*	30m 以上	165cm 以上**

*FIS レースにおいては-5cm の許容あり

**U18 初年度は-10cm の許容あり

2017/18 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
1999	FIS (U21)
1998	FIS (U21)
1997	FIS (U21)
1996	FIS
1995	FIS

SAJ

学年	レース区分	国体
全学年	SAJ	成年 A 組

スキーについて：

1. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (DH / SG / GS)
63mm 以下 (SL)

2. 個別事項

FIS 規定	DH		SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	210cm 以上*	50m 以上	205cm 以上*	40m 以上	188cm 以上*	30m 以上	155cm 以上
男子	218cm 以上*	50m 以上	210cm 以上*	45m 以上	193cm 以上*	30m 以上	165cm 以上

*FIS レースにおいては-5cm の許容あり